

## シンポジウム 1

### 「消化管疾患と腸内微生物叢研究の最前線」

司会 渡邊 俊雄（大阪公立大学大学院医学研究科先端予防医療学）  
高木 智久（京都府立医科大学消化器内科）

炎症性腸疾患や機能性胃腸症など種々の消化管疾患病態において、腸内微生物叢をはじめとした腸内環境が重要な役割を担っていることが明らかにされており、本学会においてもこれまでに多彩な議論が行われてきました。本シンポジウムでは、消化管疾患と腸内微生物叢に関する基礎的・臨床的研究成果を広く募り、消化管粘膜障害を伴う様々な病態における腸内微生物叢の役割を検討し、その理解を深める機会にしていきたいと思います。皆様の積極的なご参加を期待しています。